

【泉区】令和3年第2回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和3年6月11日 15時05分 ～16時20分
場 所	泉区総合庁舎4階 4ABC会議室
出席者	<p>【座 長】 梶村 充 議員</p> <p>【議 員：2人】 麓 理恵 議員、源波 正保 議員</p> <p>【泉 区：31人】 深川 敦子 区長</p> <p>村田 二郎 副区長</p> <p>秋元 秀臣 福祉保健センター長</p> <p>竹田 良雄 福祉保健センター担当部長</p> <p>木我 陽子 福祉保健センター医務担当部長</p> <p>安達 秀昭 土木事務所長</p> <p>小林 修二 泉消防署長</p> <p>ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度泉区運営方針について 2 令和3年度泉区個性ある区づくり推進費執行計画について 3 深谷通信所跡地整備について 4 松風学園の再整備について 5 新型コロナウイルス感染症に関する状況について
発 言 の 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度泉区運営方針について (質疑特になし) 2 令和3年度泉区個性ある区づくり推進費執行計画について 麓議員：9ページコラム②について。3年度から新しい地域支援が導入されたが、これまでも地区ごとに職員の方が入ってやっていた。今回、課長級を配置することで狙っている効果は何か。 栗竹地域力推進担当課長：これまでの体制は、地域振興課の職員が各地区連合を担当していた。また、地域福祉保健計画の推進チームとして福祉保健センター、区社会福祉協議会、地域ケアプラザの職員による支援チームがあった。地域力推進担当は各地区の経営委員会を担当し、3つの

ルートで地域支援を行っていた。今回の体制では、横串を刺すという形にした。ねらいとしては、役所の縦割り感をなくしていくこと、また地域で活動されている方に対しては、同じ方が様々な役割を持って活動されていることもあり、ワンストップサービスの役割を持ち、何か困りごとがあったらチームで対応していくということを目指している。

麓議員：課長のところにいろいろな声がダイレクトにあがってくることになり、地域の課題解決に向け、スピード感を持って取り組んでいかなければいけないというご苦労があるだろうなと思っている。これは他の区でも同じ取組をしているのか。

栗竹地域力推進担当課長：地区担当制について、泉区は早い段階から旧体制をとってきた。平成21年に地域力推進担当が各区に配置され、各区で順次、地域支援体制が組み込まれてきた。泉区は以前の体制が残っていたが、今回新体制に移行した。

麓議員：19ページの災害時避難行動について、泉区は高齢者の方も障害者の方も多くいらっしゃる。市議会でも、地域の中で個別の避難計画にしっかり取り組むことが大災害の時の安心につながると提言した。市長からも、先進的な取組を取り入れて各地域で取り組む、というような答えをいただいている。そうしたことが運営方針「3 まもろう！暮らしの安心・安全」もつながっていくと思うが、お考えは。

原田総務課長：個別避難計画の策定については、災害対策基本計画の改正では市町村の努力義務とされた。さまざま課題があると承知しているが、健康福祉局と総務局の方で国の動向を踏まえながら策定方法について方向性を検討しているところ。検討状況を見ながら泉区としての取組について検討していきたい。

課題としては、風水害や震災といった災害ごとに、支援の方式、対象者、支援者が異なってくるが、まず基本的なやり方について市の動向を見ながら地域に密着した方法を検討していきたい。

麓議員：自治会単位で先進的な取組をされているところもある。局の動向を待つだけでなく、ぜひ積極的に区で進めてほしいと要望しておきたい。それから間仕切りのパーティションの数について、今どれくらい確保しているのか。

原田総務課長：各地域防災拠点に2つ、総括的に50程度。区全体で100以上確保している状況。

麓議員：資料に掲載はないが、東原から緑園に抜ける道路が3月に新しく

開通した。新しく設置された信号から東原に向かう山の斜面がむき出しの状況。大雨の時期を前にしてこの状況は大丈夫なのかと不安に思っている、その点について伺いたい。また、至急お願いしたいのが、ちょうど NTT にぶつかるところは大型車が入らないように狭めているかと思うが、もう少し広げることにはできないか。

安達土木事務所長：まず斜面について。一度開通前に大雨が降ったこともあり、吹き付けなどを行うという話は聞いている。具体的にいつになるかはまだ分からないが、雨が降った時に土砂が出ない対策は行う予定。歩道については、用地が買えたら整備すると聞いている。道路幅については、新しく道路ができたのでできれば車はそちらの方に回ってほしいということで、既存の道路については入りづらくするため、狭めている。秋口くらいに交通量調査をすると聞いているので、そういったものを見ながら対応していくことになる。

麓議員：ぜひ局ともしっかりと連絡をとって、斜面については、見ていると心配に思うので、スピード感を持って対応してほしい。

3 深谷通信所跡地整備について

源波議員：地下水のボーリング調査について、状況はどうか。

矢口政策局基地対策課担当課長：環境基準値と排水準値を上回るものは一切出ていない。

源波議員：水が赤く染まるようなことがあったと聞いているが、どういうことが起きていたのか。

矢口政策局基地対策課担当課長：産業廃棄物の処分場の跡地が、鉄くずやコンクリートを埋めているところだったが、それらが空気に触れ、鉄バクテリアというものになって赤くなって出てきているということが分かっている。特に危ないものではないと確認している。

源波議員：国が実施した調査なのか。

矢口政策局基地対策課担当課長：今回は横浜市の方で実施した。

源波議員：行政の調査については信用しているが、過去に新橋の一般廃棄物処分場で同じような水の調査があり、最初の結果は今回と全く同じだった。しばらくして別の調査で、出たはいけないものが排出基準を若干超えて出た。大学の先生に伺ったところ、滲出水が出始めなのか、出終わりなのか、これから出てくるのかという時点でも結果が異なり、最初の調査では問題なかったが、長い期間の中では変化することもある

とのことだった。入っていた成分により、悪いものが出てくる可能性もあるとのこと。直接的に人に被害を与えることはないと思うが、生態系に影響がないとも言えない。このような事例もあるので、今後についてももしっかり注視し、安心できるように進めるようお願いしたい。

矢口政策局基地対策課担当課長：注意しながら事業に入るようにしたい。

梶村議員：整備完了までに15年程度かかるというのはどういうことか。

矢口政策局基地対策課担当課長：77ha全体を整備するには15年程度かかるということ。ただ、都市計画決定し用地交渉に入ってから、計画を前倒しして少しでも早く、少しずつでも皆さんに使ってもらえるよう、努力をしていく。

梶村議員：今、暫定利用しているところはその間、引き続き使えるということでもいいのか。

矢口政策局基地対策課担当課長：順番に工事をしていくので、利用できるかどうかは工事の場所により決まってくる。もしかしたら長く暫定利用で使えるところもあるかもしれないし、すぐ使えなくなる場所もあるかもしれない。その点についてはこれから調整に入りたい。

梶村議員：そのあたりの計画はいつ頃できるのか。

矢口政策局基地対策課担当課長：まずこれから工事の計画を立てていくので、その段階で見えてくると思う。もう少しお待ちいただければと思う。困障区域の撤去についても国の方と話し合っていく。

4 松風学園の再整備について

麓議員：まず建物改修等について伺いたい。資料⑦のA棟と⑨の管理棟、⑩の体育館だが、改修内容はどの程度のものを考えているのか。電気設備が老朽化しているとあるが、それだけなのか。働く方が使いやすいようにということを先日の議案関連の中でも申し上げたが、改修の内容をもう少し教えてほしい。

高橋障害施設サービス課長：詳細設計はこれから行う部分もある。考え方としては、A棟はこれまで複数利用者が1つの部屋に入居しているところもあったが、完全個室化のため、様々な改修を予定している。設備面での改善はもちろんのこと、直接利用者が触れる部分、見える部分はよりユニバーサルデザイン等を取り入れ、快適に使用していただけるようにしていく。快適に生活を送るための様々な改善を行っていく。管理棟は職員が利用する建物だが、老朽化が建物全体に及んでいる。設備

面での改修だけでなく、支援、業務がスムーズにできるように、これから詳細設計をしていく。日々円滑に活動できるように改修していきたい。体育棟も、様々な機能を有する棟なので、安全に活用ができるようにしていきたいと考えている。

麓議員：現在 100 人の定員のところ、今度は新居住棟で 55 室、A 棟で 15 室、民設新入居施設で 40 室のあわせて 110 人になる。民設の新しい施設と一体で松風学園と捉えるのか、民設の施設は別なのか。

高橋障害施設サービス課長：運営主体が横浜市松風学園の施設と、社会福祉法人誠幸会による施設の 2 施設となる。それぞれ方向性、特色を用いながら支援を行っていくことになる。両施設の方針、特色について利用者のご家族に案内させていただく。民設の新入所施設に移るご意向の方については、急激な変化に戸惑われることがないように、円滑に引き継ぎたい。

また、両施設は同一の敷地の中で隣接しているので、連携、協力は通常以上にしっかり行い、相乗効果も出るよう健康福祉局としても支援していきたい。

麓議員：元々の 100 名の入居者が全員戻るわけではないかもしれないし、新しい入居者も来ると思う。ただ、長く地元で根を下ろしてこの場所でやってきたので、誠幸会とも一緒になった施設として、これからも多くの方に利用していただける施設であってほしいと思っている。

解体された施設もいくつかあるようだが、それらも含め完成の様子が分かる絵や図はあるか。

高橋障害施設サービス課長：まだ詳細が決まっていないものもあるので、全体像としては本日お配りしている資料しかご用意がない。ただ、民設新入居施設、新居住棟については工事を進めるところまで到達しているので、情報提供させていただく。その他の施設は、今後支援の中身と合わせて情報発信していきたい。順次計画が進み、全イメージがはっきりしたら、示せるのではと考えている。

梶村議員：資料中④についてはもともと駐車場だったが、今後、駐車場はどうなるのか。

高橋障害施設サービス課長：④は元グラウンド。大きなイベントで来客があるときなどに駐車場として使用していた。現在は解体後の場所やその他の場所に駐車いただいている。今後工事が進み、駐車場についても変更があるかもしれないが、施設全体を安全に利用できるよう十分注意

していきたい。

梶村議員：工事車両の進入路は地元で説明していると思うが、周辺に私道があることもあり、車両がどこからどのように出るのかなど、よく局とも相談しておいてもらいたい。地元の声もよく頭に入れること。

高橋障害施設サービス課長：地元に対しては、説明会で案内をさせていただいている。とくに園外への車両の進出入、搬出入等については、私道を通行しないこととなった。狭い場所が多いので、事故等がないよう十分関係者間で取り扱いには注意していきたい。

5 新型コロナウイルス感染症に関する状況について

麓議員：予約が取れない状況が続いた中で、順調に泉区内の集団接種が進んでおり、この間、関わられた方は本当にご苦労されていると思う。私たち議員の事務所にも、当初とてもたくさんの不安の相談がきていたが、だんだん怒りにかわっていくのを肌を感じていた。先日区役所1階の相談ブースを訪れたとき、対応していた職員が、毎日怒られていますと話していた。大変な事業を皆で支え合いながらやっていかなければならないと思っている。接種予約については、ここにきて少し取りやすくなってきたと感じている。

そこで個別接種についてだが、4/30に出た医療機関名簿と、6/10に出た名簿を比較すると、医療機関名が消えていたり増えていたりして分かりにくい。資料には協力医療機関が50か所とあるが、これはもう名前を出さないでほしいということになっているのか。個別接種の医療機関の状況を教えてほしい。

原田総務課長：50か所のうち16か所が公表。34か所は非公表となる。非公表の医療機関は、かかりつけ患者を中心にやるという方針。最初に一覧表を公表した際に電話が殺到して一般診療が滞り、公表について辞退したところもあると聞いている。4/30から6/10にかけて辞退した医療機関がある一方、健康福祉局の協力金のこともあり増えたりもし、現状16か所。全市では、前回公表した機関は600か所と聞いているが、今回は850か所。また、非公表を含めた全医療機関は前回1100か所だったが今回は1500か所で、全体的に増えている。

麓議員：増えてはきているのだろうが、まったく情報を得られない方がたくさんいてあちこちの病院に問い合わせ、探している状況がある一方、病院の方から接種はどうしますか、と電話がかかってくる状況も

	<p>あると聞いている。50か所の情報は教えてもらえないか。</p> <p>深川区長：健康福祉局が情報を集約しているので、確認してご返答したい。それ以外に、訪問接種について協力意向のある医療機関の一覧もある。ご提供できる情報について整理したい。</p> <p>源波議員：昨日の段階で400か所増えたが、泉区内50か所というのは変わっていないのか。</p> <p>原田総務課長：詳細な情報は局から来ていません。</p> <p>源波議員：こどもへの接種をめぐり反対する意見が出ている自治体もあると報道で聞くが、ワクチンに反対の人からの意見などはあるか。</p> <p>原田総務課：現在区役所、公会堂で受けている相談の中にはそのような声は聞こえてこない。</p> <p>源波議員：今後、そういった声が出てくる可能性はあるか。</p> <p>深川区長：ワクチンについてはいろいろな考え方があり、そういった相談もこれから来る可能性はあるが、医学的なレベルの専門的な相談は区では答えられない。そのような内容の相談については局等に相談し回答することになるが、今のところはそういった相談はない。</p> <p>梶村議員：泉区は7月いっぱい接種が終わるのか。</p> <p>深川区長：7月末までに終わらせるよう努力していく。区民の方は、泉区の集団接種会場の他、大規模接種会場やクリニックなどで接種しており、どれだけの区民の方が接種できているかは集約できていない。一人暮らし等で予約ができない高齢の方や在宅介護でまだ受けていない方もいらっしゃると思うので、事業者、包括、民生委員等にご協力いただきながら、希望する方の接種に努力していきたい。</p> <p>梶村議員：区民の接種状況については把握でき次第情報提供をお願いしたい。</p>
備 考	